

確認しておこう！風水害時の避難先

区では、風水害の危険が迫ったときに、地域の方が身の安全を確保するための場所として「水害時緊急避難場所」を開設します。

水害時緊急避難場所

昨年台風19号を踏まえ、水害時緊急避難場所を増設しました。



【開設場所】89か所
区立小・中学校など
(嶺町小学校・多摩川小学校を除く)

逃げ込む
場所



はねびよん
©大田区



新型コロナウイルスの感染防止を踏まえた避難のポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。自宅が安全な場合は自宅にとどまりましょう。
- 避難場所は多くの方が避難するため、密接・密集状態となり感染を拡大させる要因となります。親戚・友人宅など、水害時緊急避難場所以外へ避難することも考えてみましょう。
- 水害時緊急避難場所の物品には限りがあります。マスク・消毒液・体温計をできるだけ持参してください。一人ひとりが健康管理に気を付けましょう。
- 豪雨時や浸水が始まってからの屋外の移動は困難となり、ふたが空いているマンホールに落下するなどの危険があります。また、アンダーパス(地下通路)の浸水など車による避難も危険があります。早め早めの避難を心掛けましょう。やむを得ず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。

家庭内備蓄・非常持ち出し品の準備など日ごろから備えをしましょう。

水害時緊急避難場所のルール

過ごし方

避難者同士の助け合い
区が開設し、地域の皆様と協力して運営しますが、避難者全員がなるべく快適に過ごすためには、避難者同士の助け合いが必要です。

持ち物

飲食料など
備蓄倉庫の食料は限られています。風水害は事前準備が可能ですので、学校へ避難する場合は各自で飲食料を持参しましょう。また、マスク、懐中電灯、常備薬、生活用品なども準備しましょう。



車での避難

原則不可
水害時緊急避難場所はスペースが限られているため、避難する際は、原則徒歩で避難しましょう。



ペットの受け入れ

可(犬や猫などの小動物が対象)
避難者の中には、動物アレルギーを持つ方や動物が苦手な方もいます。周りの人が過ごす生活空間と分けし、決められた飼育場所でケージに入れるか、支柱につなぐなどの配慮をしましょう。飼育場所は、水害時緊急避難場所の運営者の指示に従ってください。



情報収集の方法を知っておこう

適切な行動をとるためには、情報収集が重要です。日ごろから各HPにアクセスして情報の見方やページ構成などを理解しておきましょう。

大田区からの情報収集

◆大田区 HP



◆大田区公式ツイッター @city_ota



◆ハザードマップ (風水害編)



◆区民安全・安心メールサービス【要登録】



あらかじめ登録されたメールアドレスに、防災情報、気象情報、地震情報の放送内容を配信しています。

※ kumin@anzen.city.ota.tokyo.jp に空メールを送信

登録はコチラ

◆大田区防災行政無線電話応答サービス

☎ 0180-993-993

防災行政無線(放送塔)の放送内容を電話で確認できます。通話料は有料です。一部のIP電話やケーブル電話などでは利用できない場合があります。

関係機関からの情報収集

◆気象庁 HP



最新の気象情報や今後の推移などのほか、洪水や土砂災害の危険度なども確認できます。

◆国土交通省「川の防災情報」



全国の主要河川の情報を確認できます。

◆東京都水防災総合情報システム



呑川の水位情報や雨量グラフなどが確認できます。

◆テレビ (デジタル放送(dボタン))

天気予報や防災情報を確認できます。雨の情報や警報などの発表状況、大田区が発令した避難勧告などの避難情報を確認することができます。

<テレビの場合>

リモコンのdボタンを押すと、データ放送画面が表示されます。



<携帯電話などの場合>

ワンセグが使用できる場合、画面を縦にすると文字情報が表示されます。

